

私のお気に入りスポット (三)

三十一回生 杉山 秀子

第十一号より続いております杉山様の海外での貴重な体験談を、今回もご本人の承諾の元、皆様へ提供させていただきます。

特に後半の成田空港到着便での苦労話は我々サーピスを受ける側も知っておくべきだと思います。

(編集部)

グアム・サイパン

「うーん！休暇が5日しか取れなかったわ・・・ハワイに行くには短いし、どうしよう？」という時、手軽に旅行で便利なのがグアムとサイパンです。

成田から約3時間で、常夏の島に到着です。真っ青な空、咲き乱れるブーゲンビリアの花、プールサイドで、のんびりと寝そべって南国のカクテルを飲みな

がら本を読んで・・・時々プールで泳いだり、ウォータースキュートを滑ったり、プールに続いている海でシユノーケルを付けて潜ったりしていると、一日がアツと言う間に過ぎて・・・

グアムでの夕食はホテル最上階のレストランで沈み行く夕日を見ながら美味しい「中華料理」を食べるのが私のお気に入りです。このレストランはテーブルの配置が階段状になっていて、どの席に座っても海が見えるのです。海に沈む夕日の最後の光が消えると、星の瞬きと海岸沿いのホテルの光がキラキラと美しく輝いて、昼間の喧騒とは打って変わったロマンチックな夜が訪れます。

サイパンではいつも、ホテルの敷地内に建てられた別棟の「鉄板焼き」レストランに行きます。ライトアップされたプールサイドを通って階段を上ると、海を見渡せる素敵な場所に出ます。愛敬たつぷりのウェイターに迎えられてカウンターに座ると活きロブスター、ステーキ、野菜を次々と焼いてくれます。生ビールとワインを飲みながら食べると美味しい！！

最後のガーリックライスは又、格別なのです。食後のコーヒーは別室で、ソファに座ってゆっくり

と・・・お腹が一杯になり、又ぶらぶらとプールサイドを歩いていると優しい風が頬に気持ちよく、このまま部屋に帰るのが勿体なくなってしまう。

そう、思い起こせば私が最初にグアムにフライトしたのは、もう30年以上前になります。

ちょうど、横井庄一さんがグアムのジャングルで見つかって日本に帰ってきた直後のことでした。

グアムに残っていた日本兵はポツダム宣言(1945年)で日本軍の無条件降伏が発令されたことを知らされなかったのです。ジャングルや自ら作った地下壕などで生活、グアム派遣から役8年後の1972年1月24日にジャングルを彷徨っている最中、現地の猟師に見えられ、同年2月2日に日本に帰還しました。

リゾート地として開発されているのは、海岸線の辺りだけで、奥地のジャングルは、まだまだ未開のままなのだなぁと思うながら、その頃は、いつも飛行機の窓から下を見ていました。

当時はDC-8型機でフライトしていたのが、まもなくB-747ジャンボ機に替わって日帰り便のスケジュールになり、私達は国内線と同じようなグアムとサイパンを毎日往復しています。

カウアイ島

私達が結婚式を挙げた思い出の場所です。ハワイ諸島の北端に位置し、「庭園の島」と呼ばれる深い緑の美しい島です。ワイルア川沿いにポツカリと口を開ける、シダに覆われた巨大な「シダの洞窟」は、かつては王族のみが入ることが許された聖地でした。この神秘に溢れる「Fem Grotto」で結婚式をしたい・・・というのが私達の夢でした。

「ブルーハワイ」の映画と同じように、私達も貸切の船に乗ってワイルア川を上って行ったのです。ハワイアンソングの歌手がウクレレを伴奏に素敵な曲を歌うのを聞きながら・・・

行き交う船の観光客が私達を見つけて「Congratulations」とロ々に祝ってくれます。

お互いの両親達も、とても嬉しそうに私達を見守ってくれて・・・

「シダの洞窟」で結婚式が始まると「Ke Kali Nei Au」の歌が洞窟の下から聞こえてきました。

「ハワイアン・ウエディングソング」です。マイクが無いのに自然の音響効果が素晴らしいのです。透き通

るように綺麗なソプラノの歌声は、今でも耳に残っています・・・

私なりに日本語に訳してみました。

☆☆☆☆☆☆

私が待っていたのは
今、この瞬間・・・

ハートがドキドキしているの・・・

もうすぐ鐘の音も聞こえてくるでしょう

あなたと永遠に結ばれる、この瞬間・・・

あなたを永久に愛すると約束します

私の大切な人！

いつまでも私の側にいて下さい

あなたへの変らぬ愛を誓います

青い空と「ハワイの微笑み」の下に・・・

私は心からあなたを愛します

☆☆☆☆☆☆

フライトタイムは短いので、満席だと大変です。

少しでも睡眠時間を長くして休んで頂きたい・・・という思いから、朝食時間の設定を到着の1時間半前ぐらい前にするのですが、揺れの予報があつたりすると変更を余儀なくされます。

「どうぞ気流の変化がありませんように」といつもコックピットからの連絡を祈るような気持ちで待っていただけです。

ファーストクラスやビジネスクラスのお客様は、お休みになる前にメニューの中からチョイスして頂いて、目覚めると直ぐにお出し出来るので慌てなくても良いのですが、エコノミーのお客様は、そういう訳にはいきません。少しづつ機内のライトを明るくしたり、窓のシェイドをほんの少しだけ開けたりするのですが：熟睡しているお客様には申し訳なくて、ソート静かに音をなるべく立てないようにサービスを開始します。朝日の眩しさは睡眠不足の眼に強烈です。顔を歪めながら渋々眼を覚ますお客様に熱いおしぼりと冷たいジュースをお出しして・・・さあ！お食事です。

食事後は、入国書類をまだ記入していない方に配布したり免税品を追加する方に販売したり・・・

この曲を聴くと今でも胸がキュンとなります。あの時の気持ちを忘れずに毎日を過ごさなければ・・・先日、友人のお嬢さんの結婚披露宴に出席して、改めて感じました。

フライトの思い出(成田空港)

成田空港の早朝到着便ラッシュはスゴイ！です。

6時から分刻みで、各航空会社の飛行機が到着するのですが、航空管制の到着許可が出るまでは上空で旋回して、順番待ちです。

バンコク、シンガポール、ハノイ、ジャカルタ etc 東南アジアの国々やオーストラリアからの便が、軒並みに到着するのです。どの航空会社も1分でも早くクリアランスを得る為に、必死の順番取得が始まります。早い者勝ちなので、1機でも遅くなると5分ぐらい到着が遅れるのです。

月曜から金曜は、そのまま会社に直行するビジネスマンが多いので、飛行機の中も大忙しです。出発時間が真夜中なので、軽いスナックをサービした後、直ぐに機内のライトを消すのですが、東南アジアからの

化粧室前も長い行列が出来て、機内は忙しさのピークに達します。

私達も飛行機入国のために、しなければならぬ事がたくさんあります。各国に依って異なる入国書類の作成です。日本に帰国する時は、税関、検疫など5枚の書類が必要なのですが、車椅子のお客様が搭乗されておられたり、病院への手配をしなければならぬ時間など・・・することが盛りだくさん！で食事する時間もあります。

ベルトサインが点灯する直前に最終点検を済ませて、ホットして、窓の外を見ると、《N A R I T A》という文字が滑走路の脇に見え・・・嬉しい、やっと帰ってきたわ！

無事に帰国した時の気持ちは何ものにも替えがたいものです。飛行機のドアが開いて、日本の匂いがするとホットします。

さあ、私の好きな納豆ご飯を社員食堂で食べてから帰ることにしましょう。

タイの思い出・ゴールデンシャワーの花

バンコックに住んでいるタイ人の友達Sさんからメールの第二弾が来ました。

未だ政治問題は混沌としているようです。(10年3月28日)もうすぐタイでは「ソングクラン(水かけ祭り)」だというのに・早く解決して欲しいですね!

Sさんが春といえば日本の桜を思い出すように、私はソングクランといえば「ゴールデンシャワー」を思い出します。一年で最も暑い時期に咲く花です。この花が咲くとタイではソングクランがやって来ます。

ソングクラン(ソングラン)とはタイにおける旧正月のことで、旧暦の新年です。現在、政府によって4月13日から15日(仏暦・西暦)に固定されており、祝日になっています。元来は、純粹に新年のお祝いであり、家族が一堂に集まって仏像や仏塔に水をかけお清めをしたり、家族の年長者の手に水をかけお清めをし、相手に敬意を示す期間でしたが、後に単なる水

の掛け合いに発展したために、現在では新年というよりも祭りという色彩が強くなったようです。

「ゴールデンシャワー」タイ名は「ラーチャ・ブルック」タイの国花です。目も醒めるような黄色の鮮やかな花です。私はこの花が大好きです!!この花には懐かしい思い出があります。

フライトでバンコックに行ったときのこと・飛行機のエンジントラブルでフライトがキャンセルになり、次の日はフリーになりました。いつもは慌しく一泊して日本に帰るのですが、丸々一日の自由時間が出来たのです。「何をしようかなア?」と考えていると、バンコック駐在員の知り合いが「我が家に遊びに来ませんか?」との誘いがありました。

車でホテルに迎えに来てくれました。交通渋滞のバンコック市内をノロノロ運転でしばらく走ると閑静な住宅街に建つ素敵なマンションに着きました。セキュリティも万全で、門の前には守衛が立っていて、広い庭にはプールやテニスコートもあります。羨ましい住まいでした。

「どうぞお入り下さい!」の声に、リビングのドアを開けると真先に黄色の花が目に見え、飛び込んできました。

テーブルには溢れんばかりの「ゴールデンシャワー」です。

なんて綺麗な花なんでしょう!

その時から私は「ゴールデンシャワー」の虜になりました。バンコックのフライトのたびに必ずこの花を買って帰りました。

「ゴールデンシャワー」の鮮やかな黄色と共に、その時に飲んだ「マーテル」ブランドイの芳醇な香りを今も懐かしく思い出します。

Sさん!ぜひ日本に「お花見」に来てください。

私のお気に入りスポット 山下公園

「産業貿易センターでブランド品のセールをしているそうよ!ちよつと行ってみない?」という事で、ゴールデンウィークの一日に出かけて来ました。

とても良い天気で山下公園は人、人、人です。私はここから見る横浜港の景色が大好きです。

左手にランドマークタワー、ヨットの帆の形をした流線型のインターコンチネンタルホテル、赤レンガ倉庫や大棧橋客船ターミナルが見えます。正面はベイブリッジ、その右に羽田空港を繋ぐ翼(つばさ)橋が真っ青な空とマッチして雄大に架かっています。見ているとのんびりとリラックスした気分になります。山下公園の産業貿易センターは、パスポートの更新時にはいつも来ていました。

以前は隣の「シルクセンター」で買い物をするのが好きで、掘り出し物を見つけて喜んでいたものです。

「シルクセンター」は呼んで字の如く、以前は生糸取引所でした。横浜における生糸に関係した取引所の歴史は古く遡れば、明治27年(1884年)、横浜蚕糸外四品取引所が開設されて以降、明治43年(1910年)には横浜取引所として、また昭和26年(1951年)には横浜生糸取引所になり、平成10年(1998年)には横浜商品取引所に名称を変更して活動を行うなど、横浜の取引所は長い間、生糸の価格を世界に発信し、蚕糸業界をリードしてきたのです。

私はこの名前の響きが好きで、遠くシルクロードに想いを馳せ、昔の横浜を彷彿させる「シルクホテル」

は、もう無くなつてしまい残念ですが・・・その頃の人達は、どんな生活をしていたのでしょう？

馬車道の店が発祥だというアイスクリーム（当時はアイスクリンと呼ばれていたそうだが・・・）を食べ、牛鍋の「荒井屋」で食事をする当時のハイカラな人達が目に浮かびます。タイムスリップして覗いてみたいなア〜！

横浜中華街も人の波です。ちょうど昼時で、有名店の前には長い行列が・・・久し振りに人込みに揉まれながら「中国料理世界大会」で金メダルを受賞した店の、肉まんや餡まんを実家のお土産に買いました。父から頼まれていた時計がなかったのでお詫びの印です。来る時は「日本大通」駅で降り、帰りは「石川町」駅から電車に乗りました。万歩計は9700歩を指しています。さすがに疲れた一日でした。

まだまだ楽しいお話が続きますが、また来年 この
会誌でお目にかかりましょう。

（編集部）